

検査項目	特定健康診査 (40-74歳)	一般健康診断 (雇入時・定期)	人間ドック基本コース	説明
既往歴及び業務歴の調査 (問診)	●	●	●	
自覚症状及び他覚症状の有無の検査 (理学的検査)	●	●	●	診察時に医師より問診、胸部・腹部の聴診・触診を行います
身長測定	●	●	●	20歳以上の者は健康診断を実施する医師の判断により省略可能
体重測定	●	●	●	
腹囲測定	●	●	●	40歳未満の者(35歳の者を除く)は省略可能
BMI [体重kg÷身長(m) <sup>2</sup> ]	●	●	●	
視力検査	-	●	●	裸眼視力または矯正視力を測定
聴力検査 (1000Hz/4000Hz)	-	●	●	①聴力検査はオーディオメーターによる1000Hz及び4000Hzの音に係る検査を原則としますが、45歳未満の者(35歳・40歳を除く)については、医師が適当と認める聴力の検査方法をもって代えることができます。 ②雇入れ時の健康診断では、検査項目の省略は認められません。
血圧 (収縮期・拡張期血圧)	●	●	●	
心電図	●	●	●	
胸部X線検査 (立位・正面)	●	●	●	40歳未満の者で以下の1~3のいずれにも該当しない者は省略可能。 1) 20歳、25歳、30歳、35歳の者 、2) 感染症法で結核に係る定期の健康診断の対象とされている施設等(学校、病院、介護老人保健施設、特定の社会福祉施設等)の労働者、 3) じん肺法で3年に1回のじん肺健康診断の対象とされている者 次のいずれかに当てはまる者は、医師が必要でないとき診断項目を省略できる。
喀痰検査 (結核菌塗抹培養検査)	(●)	オプション (必要と判断された場合のみ)	-	①胸部エックス線検査を省略された者 ②胸部エックス線検査によって病変の発見されない者又は胸部エックス線検査によって結核発病のおそれがないと診断された者
空腹時血糖 (グルコース)	●	●	●	糖代謝検査
尿蛋白	●	●	●	定期健診必須項目
尿糖	●	●	●	定期健診必須項目
尿潜血	●	-	●	定期健診非必須項目
尿沈渣	-	-	●	定期健診非必須項目
白血球数	-	-	●	炎症反応や免疫能の検査
赤血球数	●	●	●	貧血検査
ヘモグロビン	●	●	●	貧血検査
ヘマトクリット	●	-	●	貧血検査
血小板	-	-	●	止血機能、肝機能の検査
白血球分類	-	-	●	好中球やリンパ球数を測定
GOT	●	●	●	肝機能検査
GPT	●	●	●	肝機能検査
γ-GTP	●	●	●	肝機能検査
ALP	-	-	●	肝機能・骨代謝の検査
LDH	-	-	●	肝臓、血液、筋肉、悪性腫瘍に多く含まれる逸脱酵素
コリンエステラーゼ	-	-	●	肝機能・脂質代謝の検査
総ビリルビン	-	-	●	肝機能検査
クレアチニン	●	●	●	腎機能検査
推算糸球体濾過量(eGFR)	●	●	●	腎機能検査：血清クレアチニン値、年齢、性別、(身長、体重)より推算
尿素窒素	-	-	●	腎機能検査、栄養状態評価
尿酸	●	-	●	尿酸値は腎臓や血管の障害に関与
HDLコレステロール	●	●	●	脂質代謝検査
LDLコレステロール	●	●	●	脂質代謝検査
中性脂肪	●	●	●	脂質代謝検査
総コレステロール	-	●	●	脂質代謝検査
HbA1c	●	-	●	糖代謝検査
総蛋白	-	-	●	栄養状態評価
アルブミン	-	-	●	栄養状態評価
A/G比	-	-	●	肝・腎機能検査、炎症反応検査
膵型アミラーゼ	-	-	●	膵疾患検査
胃カメラ	-	-	●	口または鼻から内視鏡を挿入します 鎮静剤使用はオプションにて実施
超音波検査 (腹部)	-	-	●	肝臓、胆のう、膵臓、脾臓、腎臓、腹部大動脈
便潜血検査 (2日分)	-	-	●	大腸がん検診 (5日以内に2日分の検便採取)
腫瘍マーカー (2項目)	-	-	●	自由に選択いただけます (応相談)